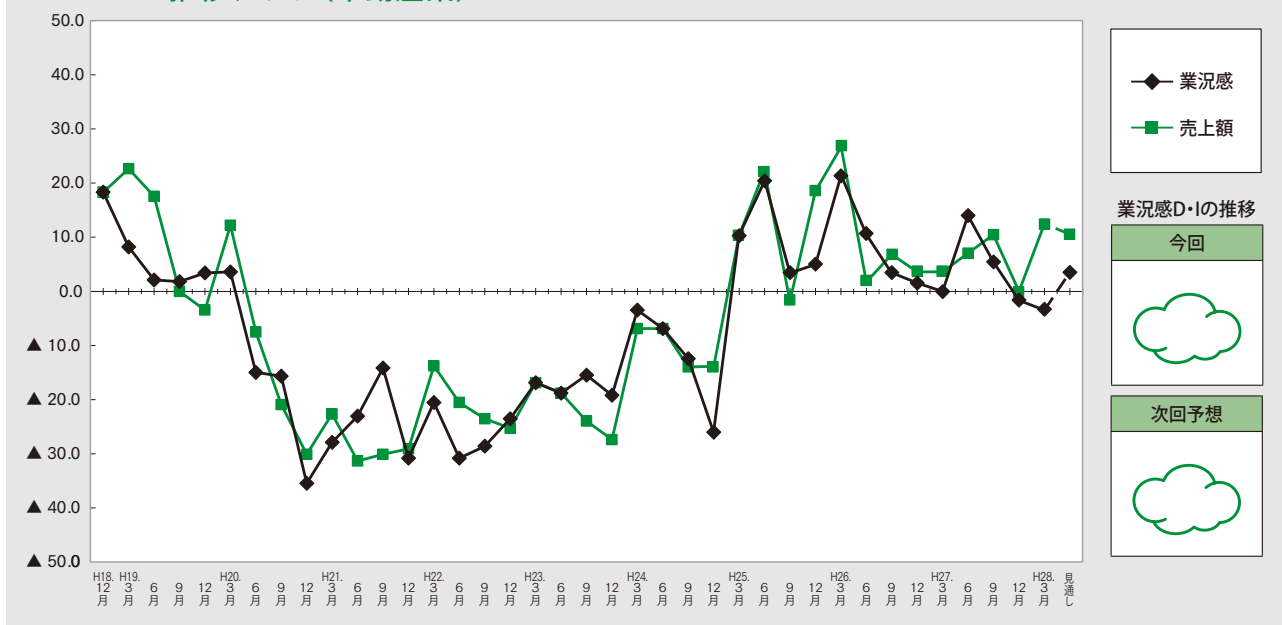


不動産業

Real estate industry

業況感やや悪化

D・I 推移グラフ (不動産業)



1 今期 (平成28年1 - 3月期)

今期の業況感は▲3.5 (前期▲1.8)となり、前期比で1.7ポイント悪化。

業況感は今期悪化しているものの、その他の項目については、多くが横ばいまたは改善している。なかでも売上額D Iは前期比12.3ポイント、収益D Iは前期比10.5ポイントと大きく改善しており、特に収益D Iは平成26年3月期並の水準まで上昇している。

2 来期の予想 (平成28年4 - 6月期)

来期の業況感D Iは3.5と今期から7.0ポイントの改善予想となっている。

仕入価格はやや低下しているものの、多くの項目が改善しており、今期大きく改善した売上額・収益D Iは、その反動からわずかに悪化しているものの、D I値自体はいまだ高い水準で推移している。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27.3月期	H27.6月期	H27.9月期	H27.12月期	H28.3月期	来期見込み
業況感	0.0	14.0	5.3	▲ 1.8	▲ 3.5	3.5
売上額	3.6	7.0	10.5	0.0	12.3	10.5
収益	3.6	▲ 1.8	5.4	5.3	15.8	14.0
販売価格	▲ 1.8	5.3	▲ 1.8	0.0	1.8	3.5
仕入価格	0.0	▲ 1.8	▲ 5.3	▲ 3.5	3.5	0.0
在庫	0.0	3.5	▲ 1.8	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 5.3
資金繰り	▲ 1.8	▲ 1.8	1.8	1.8	▲ 3.5	▲ 1.8
人手	5.4	12.3	1.8	1.8	3.5	5.3
設備状況	-	-	-	-	-	-

業況調査メモ

鹿児島市交通局跡地(2.45ha)は、南国殖産を代表者とする医療法人「玉昌会」、公益財団法人「昭和会」、スポーツジムなどを展開する「ロックス」(本社・東京)の4法人の共同事業体への売却が決定。急性期(9階建て)と慢性期(8階)の病院2棟、130戸の分譲マンション(21階)、ホテル(13階)、温浴施設を併設したスポーツクラブ(6階)、スーパーや飲食などのサービス施設(10階)の計6棟のコンパクトシティが2020年3月誕生する予定だ。総事業費500億円、新規雇用約1千人が見込まれる大規模プロジェクト。周辺の街づくりにも刺激を与え、新たな集客エリアとして整備が進むことになる。